

箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
箕面ユネスコ協会事務局
〒562-0013 箕面市坊島 4-5-20
みのおキューズモール2Fみのお市民活動
センター内 箕面ユネスコ協会（メールボックス）
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp



◆ 目次 ◆

- ・東日本スタディーツアー
- ・菅野東小学校の5年生とともに
- ・「東日本を忘れない」チャリティー物産展
- ・かやのお宝人権まつり・人権フォーラム
- ・お知らせ

♪ホームページ折々に更新中
「箕面ユネスコ協会」
で検索してください

●箕面ユネスコ協会 東日本大震災スタディーツアー

「東日本大震災を忘れない」平成29年10月28日 29日

東日本大震災以降、私たち箕面ユネスコ協会ではこれまで子どもたちと一緒に東日本大震災を通し「生きること、命の大切さ」考えるための活動を行ってきました。

被災地から遠く離れた大阪でできる支援活動としての「東日本大震災を忘れない」一連の取り組み。時間の経過とともに人々の関心が薄れていくなか、細く長く支援の気持ちを持ち続けていくために、ユースフォーラムや講演、チャリティー物産展なども開催してきました。メンバーの「震災復興がどこまで進んだのか、自分たちの目で確かめたい」との思いを受け、3・11、震災に伴う津波と火災で壊滅的な被害を受けた宮城・気仙沼、陸前高田、南三陸町へのスタディーツアーを行いました。うれしいことに、メンバー9人に加え、福岡市筑後から、朝倉・熊本支援のネットワークと一緒に活動している田中かおるさんが仙台から合流してくださいました。

ネットワークで元気な人と人が繋がる



東日本大震災から6年7か月、やっとの思いで初めて被災地を訪れました。震災当時のまま残された石巻市大川小学校を目の前にした時、河口から4キロのこの場所に予想もつかない高さの津波が来るとは・・・誰も責める事はできないという思いと多くの命が奪われた事に、胸がつまる思いで手を合わせました。道を進めて行くと荒涼とした草地、広い平地に盛り土された土地、行き交う多くのトラック・・・、かつての人々が安心して暮らせる街づくりには、まだまだ時間がかかるという印象でした。今回、震災当初から現在も数知れず被災地に足を運び、被災地の方々との繋がりを大切にしている坂口会長のおかげで、ヤマヨ水産の小松さん、旅館海鳳の女将さん、南三陸の鈴木さんから貴重なお話を聞くことができました。元気で前向きな人々が復興への原動力であると感じ、坂口会長の広いネットワークで、元気な人と人が繋がることの素晴らしさを実感しました。（石橋 晴代）



●箕面市立萱野東小学校5年生のみなさんとともに

総合学習「萱東 絆プロジェクト～世界とつながろう～」



1 学期より、友だちや自分自身を見つめながら、つながる気持ちよさは『絆』を味わってきた子どもたち。2 学期は、世界にある課題について考える活動を行っています。箕面ユ協も、そんな素敵な子どもたちと協働させて頂きました。

1 回目の出会い・・・17歳でノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんの生き方を、国連でのスピーチ動画を中心に伝えました。

One child, one teacher, one pen and one book can change the world.
Education is the only solution. Education First.

マララさんの力強い言葉はわたしたちの心を動かします。学校は、自分の考えを語るための言葉を手に入れる場。貧しさのために学ぶことを諦めなければならない子どもたちがいる現実に気づいた子どもたちでした。

2 回目の出会い・・・カンボジアの寺子屋について伝えました。日本ユネスコ協会では、世界寺子屋運動として、アフガニスタン、ラオス、インド、ネパール、ミャンマーと、寺子屋を設立し、現地の支援を続けています。坂口会長は、研修ツアーの団長として先生方や高校生たちとともに寺子屋で過ごした経験を子どもたちに伝えました。



「今までにいちばんうれしかったことは、家の人为学校に行っているよと言ってくれたことです」カンボジアの女の子の言葉だそうです。学ぶことが大きな喜びであることが伝わります。文字を獲得していった村は、ごみもなくなり、よりよい生活を創ろうと新たな働く場が生まれていく…。一生懸命に話を聞いてくれる子どもたちの姿がありました。

3 回目の出会い・・・前回、先生だけが味見したクメールカレー（カンボジアのカレー）を、今度は子どもたちが味わう授業です。ボランティアの子どもたちが、カレーづくりにがんばりました。



ココナッツミルクがたっぷりに入ったエキゾチックなクメールカレー。「ちょっと変わってるけど、おいしい！」そんな感想をたくさん聞きました。カンボジアの地をぐっと近く感じてくれたように思いました。



この後、子どもたちは4つのグループに分かれ、「世界の識字事情」や「カンボジアの今」等の調べ学習に取り組んでいるそうです。その中から、カンボジアの寺子屋の子どもたちに喜んでもらえることはないだろうかと、「よせがき」や「おりがみ」の作品を作ってくれました。日本ユネスコ協会に協力していただき、現地に届けることになっています。



～つながろう世界と～ 今後の展開が楽しみです。

(大濱 淳子)

●「東日本大震災を忘れない」チャリティー物産展 みのおNPOフェスタ2017



11月26日(日) 10:00~16:00
みのお市民活動センター(みのおキューズモール2F)で、「みのおNPOフェスタ2017」が開催されました。

今年も被災地応援物産展として東北や熊本の物産を販売しました。例年みのお市民活動センター玄関前に出展ブースを

構えていましたが、今年はステージ設置のため、かやのさんぺい橋に場所を移しての活動となりました。そんな中「いつもの場所でやっていなかったから…」とわざわざブースを探して買いに来てくださる方や、「今年は、これにしよう・・・」と新しく仕入れた商品を買ってくださるリピーターのお客さんも増えてまいりました。有難いことです。今後もこのような物産展を通して被災地を応援していきたいと思ひます。(前田 ひとみ)



●第31回 箕面市人権フォーラム

【統一テーマ】いっさいの差別を許さないために、話す、語る、伝える、分かち合う！全体会 12月2日(土)3日(日)

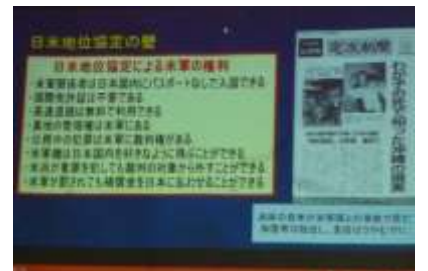
「第3分科会/もっと沖縄の今を知ろう！」

沖縄の現実から目をそらさず、今できることをする。マスメディアが伝えない沖縄を自分たちの目や耳で確かめたことの報告や沖縄の問題が基地問題と密接につながる「沖縄の基地と暴力、女性の人権」など大勢の参加者と一緒に学びました。

これに先立ち、平成29年(2017年)9月17日(日)~19日(火) 箕面市人権啓発推進協議会男女協働参画啓発研究部会のみなんと一緒に沖縄スタディツアー参加しました。南城市糸数壕(アブチラガマ)・辺野古、浜のテント村・おきなわCAPセンターひめゆりの塔へ

行きました。沖縄の現実から目をそらさず、今できることをする。その思いで9月17日台風の中沖縄へ出発した女研の皆さん。東北支援より帰阪したその日、私は1日遅れて沖縄へ飛び合流しました。沖縄で起こっている言葉にならない米兵による多くの事件や基地がもたらす弊害。沖縄の為に自分に何ができるかといえば苦しいところですが、現地に行き事実を知ることができたことが、人ごとではなく、何をすればよいのかを考えるきっかけとなりました。それと漠然とですが、「大切な命・人権を大事にする教育」が米軍(米国)でも日本でも、もっと必要なのではないかと考えました。

(坂口 一美)



●かやのお宝人權まつり チャリティー物産展&さんま祭り出店しました！

地域の人と「であい」「つながり」を！



らいとぴあ21を中心にした地域の総合文化祭！子どもや高齢者、障がい者市民や外国籍の方など、萱野地域で生活されているすべてのひとが「であい」「つながり」「げんき」になり、地域のコミュニティを高め、発展していくことをめざしています。多くの団体が参加する中で、箕面ユネスコ協会でもチャリティー物産展と、さんま祭を行いました。第2中学校の1年生のメンバーに応援していただき、無事完売！～恐るべし2中生！ありがとうございました。先生方ありがとうございました。



箕面ユネスコ協会からのお知らせ！

第5回「3.11を忘れない」 気仙沼の食材とお酒を楽しむ会！



平成30年2月10日（土曜日）【講演】17時から
【食を楽しむ会】18時スタート「らいとぴあ21」で開催！
講演会は、17時スタートです。

東北の珍味や新鮮な魚介類を食べながら、楽しい美味しい交流会を開催いたします。是非多くの方々のご参加をお待ちしております。

★ぜひご覧ください★子どもたちを学校へ

気軽に参加できる、「タンズ遺産ダンス」のムービー編「遺産を募金」に

<http://www.unesco.or.jp/terakoya/kakisonji/>

書きそんじハガキ、未使用切手、プリペイドカードの3兄弟が、かわいいダンスと歌でご家庭に眠った「遺産」について呼びかけています！



